

食中毒予防街頭啓発キャンペーンを実施しました

令和7年10月31日ヴェルノール布施や近鉄布施駅周辺において食中毒予防街頭啓発キャンペーンを実施しました。



このキャンペーンは東大阪市、東大阪市公衆衛生協力会及び大阪府食品衛生協会東大阪支部の合同で行い46名もの皆様のご協力を頂戴し行いました。

当日は小雨の降るなか東大阪市保健所西協力会の栗飯原会長、東大阪市からは保健所所長の挨拶で始まりました。

細菌が原因となる食中毒は夏場(6月から8月)に多く発生していますが、ウイルスが原因となる食中毒は冬場(11月から3月)に多

く発生しています

ノロウイルスによる食中毒は、ノロウイルスが付着した手で調理し、そのノロウイルスが着した食品を食べたりするなどして、ノロウイルスに感染することで起こります。

このことから市民の皆様には次の3つの基本を訴えて食中毒予防活動を行いました。



食中毒の原因菌 「つけない」「ふやさない」「やっつける」を3つの基本として

つけない＝洗う！分ける！

手にはさまざまな雑菌が付着しています。食中毒の原因菌やウイルスを食べ物に付けないように、必ず手を洗いましょう。

ふやさない＝低温で保存する！

やっつける＝加熱処理！